

単元名 見つめてみよう 生活時間

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 生活時間の有効な使い方について理解することができる。
 (2) 生活時間について課題を見付け、その解決を目指して、知識を活用して生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
 (3) 家族の一員として、家族との協力の視点から、生活時間の有効な使い方を理解し、その使い方を考え、よりよく工夫しようとする。

標準的な展開例

06090101_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 生活時間を見つめてみよう。 ★ 1日の生活の仕方を調べ、生活の課題を見付けよう</p> <p>○ 時間軸で自分の時間の使い方を書き出し、生活の課題を見付ける。</p> <p>2 生活時間を工夫して、有効に使おう。 ★ 生活時間の有効な使い方を工夫して、生活に生かそう ○ 「わが家のすてき時間作戦」を考え、生活時間の有効な使い方を工夫する。</p> <p>○ 友達の工夫やアドバイスを参考に更に豊かな家庭生活を作るため、生活時間の有効な使い方を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5学年の学習を通して、できるようになったことを振り返らせ、更にできることを増やそうとする気持ちをもたせる。 ・ p.74のイラストを見て、1日の生活時間を見つめさせる。 ・ p.75の表にまとめ、気付いたこと、工夫できることから課題とすることを見付け出させる ・ 家族で大切にしたい時間を事前に家族にインタビューさせておく。 【評】 生活の課題を見付ける活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 家族にインタビューしてきたことを参考に、家族とともに過ごす時間や家族の触れ合いや絆を深める時間を作り、次時までに実践するよう伝える。 【評】 「わが家のすてき時間作戦」を考える活動を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・ p.77「深めよう」を参考に、更に快適に楽しく過ごせる計画を立てさせる。 ・ 6年生で行う学習全体を見通し、更に成長した自分の姿を想像させることで、家庭科学習への意欲化を図る。 【評】 生活時間の見直しをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する

【 備 考 】